

## 三谷産業イー・シー 株式会社

### ◎ 事業所概要

企業名 : 三谷産業イー・シー 株式会社  
代表者氏名 : 代表取締役社長 山崎 泰司  
所在地 : 野々市市御経塚三丁目 47 番地  
業 種 : 卸売・小売業  
労働者数 : 111 人



### ◎ 行動計画

- |        |   |
|--------|---|
| 1 計画期間 | 平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日   |
| 2 取組目標 | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 子どもの出生時に父親が休暇を取得することを促進し、計画期間内に取得状況を次の水準以上とする。<br/>期間内 : 2 名以上の取得</li><br/><li>○ 計画期間内に下記の制度について男性社員の取得状況を次の水準以上とする。<br/>期間内 : 1 名以上の取得<br/>小学校就学前の子の看護休暇</li></ul> |

### ◎ 認定取得に向けた取組状況

・ 社内システムを利用して行動計画を全社員に周知し、改めて特別休暇の取得促進を呼びかけた。また、新入社員を対象とした社内研修における制度周知や、社員への周知メールに特別休暇の申請方法を記載するなど、利用しやすい環境整備を進めるとともに、子の看護休暇については対象の社員に個別に取得勧奨を実施した。

その結果、計画期間中に 6 名の男性社員が子の出生時休暇を取得、2 名の男性社員が子の看護休暇を取得した。

・ 年末年始における年次有給休暇の計画的付与の実施に加え、ゴールデンウィークにおける年次有給休暇を活用した連続休暇の取得を呼びかけ、年次有給休暇の取得促進を図った。

・ 不測の事態への対処や、育児・介護・病気療養中などの柔軟な働き方の選択肢の一つとしてテレワークを活用するため、環境整備のためのガイドラインを策定した。

## ◎ 企業からのひとこと

### ○ 行動計画に基づく取組に当たって工夫した点

「子の看護休暇」に関しては、制度がありながらも制度自体への理解度及び認知度が会社全体で低かったため、社内イントラネットによる周知にとどまらず、積極的に対象社員に個別説明するようにしました。また「子の看護休暇」取得対象者の子どもの生年月日等をデータ化し、制度の活用を働きかけるようにしました。

### ○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

男性社員の「子の看護休暇」の取得目標を行動計画に盛り込んだことにより、こちらの制度が広く周知されました。まだまだ男性社員の育児制度利用への抵抗感というものは残っていますが、くるみん認定企業になったことをきっかけに、当社が男性社員の育児参加を積極的に推進している企業であるということを社員にしっかりと伝えていきたいと思えます。また新型コロナウイルス禍で、テレワーク勤務を含めたワークスタイルの変革が迫られるなか、今回、認定をいただき、社員にとってもワークスタイル変革の良いきっかけになればと思います。

### ○ 育児関連休業を取得した男性社員の声

今まで「子の看護休暇」制度に関して認識していなかったのですが、今回こちらの制度を利用して、有給休暇とは違い「子どもの看護のため」という明確な目的がある休暇のため、取得しやすいと感じました。「子の看護休暇」の取得をきっかけに、男性社員・女性社員関係なく利用できる育児制度が整備されているということを改めて認識できましたし、会社全体でより積極的に活用していくべきだと感じました。今後も機会があればこのような制度を活用し、育児に積極的に参加していきたいと思えます。

(営業課・38歳)